

府立の施設を府民とともに考える

「子どもが笑う大阪」大阪を愛するをキヤッチアップに誕生した橋下知事は「大阪府財政非常事態宣言」を発し「すべての事業、出資法人及び公の施設をゼロベースで見直ししていく」と表明し、私学助成や医療費助成制度など府民施策をさらに削減する考えを示しています。

そして、橋下知事は、府立の施設を次々と見学・視察し、果たしてこれが府立でなければならない必要があるのか?と発言するなど、あまりにも施設の設置経過や府民の要望をおおざろにした言動が新聞報道されています。

府職労は、大阪教職員組合・大阪府立高等学校教職員組合・大阪労働組合総連合、大阪自治体労働組合総合



第1回現地視察見学会

府立の施設

☆日 時 4月13日(日) 9:30集合
☆集合場所 南森町 天満宮 南門前
☆視察コース

第1班=青少年会館、青少年活動財団→なみはやドーム→大型児童館ビッグバン
第2班=国際児童文学館→ワッハ上方→いずれかの博物館
☆参加費=2000円(申中での弁当代含む)

連合の四団体と、橋下知事の「公の施設」に対する「原則廃止・見直し」発言に対し、府民自身が評価・意見を述べたい。その結果「府立の施設を府民とともに考える会」を広範な府民団体とともに発足させ、現地見学・視察し、当該施設の関係者や利用者の意見を聞きながら、府民の目線で、現行の「公の施設・府立の施設」のありかたを再考する運動をすすめていくことを確認しました。

【考える会】の当面の活動は、①府立の施設・公の施設(25施設)について、現地視察しながら、施設の設置・管理運営者から、施設設置の経過、府民の利用状況、財政状況などのヒアリングなどを行う。

②一定の時期(5月中旬を想定)に、ヒアリング、施設の結果を報告し、府民的に公表する集会を開催する。など取り組みを進めていきます。



【子どもが笑う大阪】大阪を愛するをキヤッチアップに誕生した橋下知事は「大阪府財政非常事態宣言」を発し「すべての事業、出資法人及び公の施設をゼロベースで見直ししていく」と表明し、私学助成や医療費助成制度など府民施策をさらに削減する考えを示しています。

【子どもが笑う大阪】大阪を愛するをキヤッチアップに誕生した橋下知事は「大阪府財政非常事態宣言」を発し「すべての事業、出資法人及び公の施設をゼロベースで見直ししていく」と表明し、私学助成や医療費助成制度など府民施策をさらに削減する考えを示しています。

【子どもが笑う大阪】大阪を愛するをキヤッチアップに誕生した橋下知事は「大阪府財政非常事態宣言」を発し「すべての事業、出資法人及び公の施設をゼロベースで見直ししていく」と表明し、私学助成や医療費助成制度など府民施策をさらに削減する考えを示しています。

【子どもが笑う大阪】大阪を愛するをキヤッチアップに誕生した橋下知事は「大阪府財政非常事態宣言」を発し「すべての事業、出資法人及び公の施設をゼロベースで見直ししていく」と表明し、私学助成や医療費助成制度など府民施策をさらに削減する考えを示しています。

【子どもが笑う大阪】大阪を愛するをキヤッチアップに誕生した橋下知事は「大阪府財政非常事態宣言」を発し「すべての事業、出資法人及び公の施設をゼロベースで見直ししていく」と表明し、私学助成や医療費助成制度など府民施策をさらに削減する考えを示しています。

【子どもが笑う大阪】大阪を愛するをキヤッチアップに誕生した橋下知事は「大阪府財政非常事態宣言」を発し「すべての事業、出資法人及び公の施設をゼロベースで見直ししていく」と表明し、私学助成や医療費助成制度など府民施策をさらに削減する考えを示しています。

【子どもが笑う大阪】大阪を愛するをキヤッチアップに誕生した橋下知事は「大阪府財政非常事態宣言」を発し「すべての事業、出資法人及び公の施設をゼロベースで見直ししていく」と表明し、私学助成や医療費助成制度など府民施策をさらに削減する考えを示しています。

【子どもが笑う大阪】大阪を愛するをキヤッチアップに誕生した橋下知事は「大阪府財政非常事態宣言」を発し「すべての事業、出資法人及び公の施設をゼロベースで見直ししていく」と表明し、私学助成や医療費助成制度など府民施策をさらに削減する考えを示しています。

【子どもが笑う大阪】大阪を愛するをキヤッチアップに誕生した橋下知事は「大阪府財政非常事態宣言」を発し「すべての事業、出資法人及び公の施設をゼロベースで見直ししていく」と表明し、私学助成や医療費助成制度など府民施策をさらに削減する考えを示しています。

【子どもが笑う大阪】大阪を愛するをキヤッチアップに誕生した橋下知事は「大阪府財政非常事態宣言」を発し「すべての事業、出資法人及び公の施設をゼロベースで見直ししていく」と表明し、私学助成や医療費助成制度など府民施策をさらに削減する考えを示しています。

【子どもが笑う大阪】大阪を愛するをキヤッチアップに誕生した橋下知事は「大阪府財政非常事態宣言」を発し「すべての事業、出資法人及び公の施設をゼロベースで見直ししていく」と表明し、私学助成や医療費助成制度など府民施策をさらに削減する考えを示しています。

【子どもが笑う大阪】大阪を愛するをキヤッチアップに誕生した橋下知事は「大阪府財政非常事態宣言」を発し「すべての事業、出資法人及び公の施設をゼロベースで見直ししていく」と表明し、私学助成や医療費助成制度など府民施策をさらに削減する考えを示しています。

【子どもが笑う大阪】大阪を愛するをキヤッチアップに誕生した橋下知事は「大阪府財政非常事態宣言」を発し「すべての事業、出資法人及び公の施設をゼロベースで見直ししていく」と表明し、私学助成や医療費助成制度など府民施策をさらに削減する考えを示しています。

春闘要求で団体交渉

労使協議を無視する 知事の言動を厳しく追及

3月27日、府職労春闘要求書に基づき、団体交渉を行いました。交渉は初めに

府職労学校を開催します!

2008年6月21日(土)・22日(日)に「府職労学校」を開催します。「貧困と格差」が拡大している情勢のもと、労働組合運動が力を発揮するべきです。みんなで学び、それを力に困難な状況を克服する未来、と語りひらくための学びをしましょう。

産廃違法処理問題 府立病院機構に 法令順守を申し入れ

病院労組は3月21日、府立急性期・総合医療センターや成人病センター、母子保健医療総合医療センターが病院からでた汚泥排水や汚泥などの産業廃棄物を一般ゴミとして違法に処理していた問題に対して、実態の解明と適切な処理を行うよう地方独立行政法人大阪府立病院機構に申し入れを行いました。

今回の問題は、公的機関が産業廃棄物を一般ゴミと認識し、処分を業者任せにして処分先も処分方法も把握していなかったため病院

大東市長選挙

松久よしきさんと 市民が主人公の市政へ



松久よしきさん

大東市長選挙が今月6日告示、13日投票で行われます。「大東民主市政の会」から大東四条峻保健生協専

務理事の松久芳樹氏が出馬を表明しています。現市政は、国いらないに「効率化と活性化」を口実に民間活力を活用することで、公共性を破壊し市民サービスは後退させ、福祉・教育をおききりにする市政となつていきます。「大東民主市政の会」は、国の悪政

から市民生活を守るために、市民一人ひとりの声が反映される市政の実現に奮闘しています。府職労は、大阪自治労連からの要請、運動方針にもとづき、3月24日の本部執行委員会において、「大東民主市政の会」の松久芳樹氏を推薦し、支援することを決定しました。

民主的な自治体建設に奮闘し、来るべき総選挙で労働者・国民の声がとてく国政を実現する闘いに結び付けていきたいと思います。市長選挙のご支援を呼びかけます。

特集 知事への一言

橋下知事が就任して2ヶ月足らずですが、「朝礼」「サービス残業感謝発言」等さまざまな出来事があり、労働組合として知事の言動、当局の動きを注視し迅速な対応が必要な状況にあります。組合員から「知事への一言」が本教教員部に寄せられていますので掲載します。

全国的に低い給与をこれ以上削減することは、士気の低下を招き人材の育成確保にも悪影響をおよぼす。このことは結果、府民へのシワ寄せとなることを考えて職員には、まごころの関係がない。我々は機械ではない、人間だ。(出先 50代 男性)

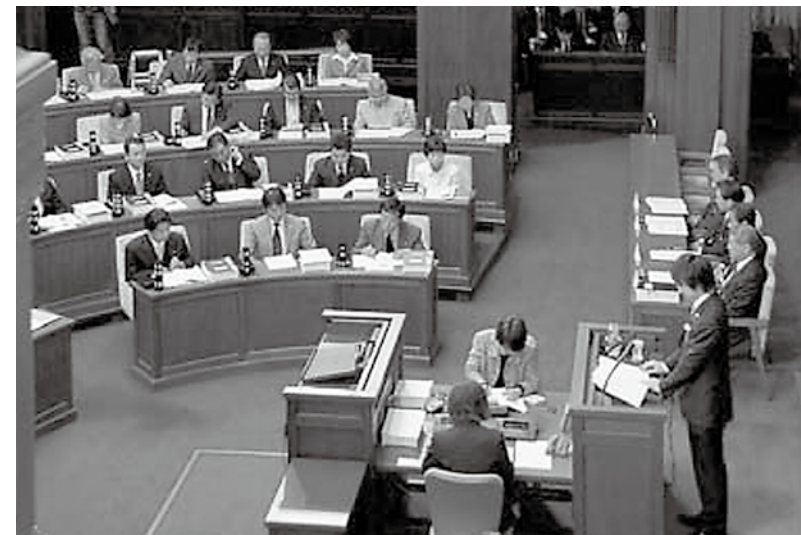
サービスの残業をありがたやりの感じが感ぜられない。建設事業の入札差金をスムーズに返還できるようにしてください。(出先 30代 女性)

今、知事さんは何をするか分からないので「声はかかるときに上げない」とやばいと思います。しかし、声を上げると強烈な非難が飛ぶ。ひと声を上げるにも、府職労のような「掘り所」が必要ですね。(出先 30代 男性)

支出を抑えたら、建設事業の入札差金をスムーズに返還できるようにしてください。(出先 30代 女性)

「府庁を愛する」のは知事でも幹部でもなく、第一線の職員と橋下知事は言うている。本当にそう思っているなら、まずすべきは職員に働く意欲を向上させることである。暫定予算でそれだけ多額の職員が困っているのか、橋下知事のサハラ(？)発言が多数の職員に響いているのか、そのことを考えたい。(出先 50代 男性)

「子どもが笑う大阪」大阪を愛するをキヤッチアップに誕生した橋下知事は「大阪府財政非常事態宣言」を発し「すべての事業、出資法人及び公の施設をゼロベースで見直ししていく」と表明し、私学助成や医療費助成制度など府民施策をさらに削減する考えを示しています。



知事の所信表明(2月29日) ©大阪民主新報社

30歳以下の職員を対象にした朝礼が3月13日に行われました。その中で橋下知事がサービス残業を容認する発言を行ったことに対して、府職労は知事の発言に抗議するとともに、①サービス残業容認とされる発言の撤回と全職員への謝罪、②官民間問わず、サービス残業根絶に向けた施策を講ずることなど、労使慣行の尊重と法令順守を求める申入れを14日に行いました。また、朝礼で発言した女性職員がインターネットを中心に「攻撃」がされている問題から、橋下知事のマスコミを利用す

朝礼が「知事と職員 のつどい」に変更

意見交換ができる場面なのか

「ワイドショー」的な言動により、職員が自由に意見を述べることができないことを当局に指摘し改善を求めました。

3月26日に第2回目の朝礼が実施されましたが、当局は朝礼を「知事と職員をつどい」と名称を変更するとともに、つどいは「自由参加」として午前8時45分から開始し勤務時間に及ぶ場合は職免扱いにするなど、様々な問題点をこまかくすものとなりました。府職労は当局の姿勢を厳しく追及し、抜本的に改めることを強く求めました。

「9条世界会議 in 関西」を成功させよう

5月6日(火・祝)に舞洲アリーナで開催



2008年5月4日、5日、6日に「9条世界会議」が開催されます。関西では、5月6日地方集会所として舞洲アリーナで「9条世界会議 in 関西」として開催する(と)なっています。

世界中で、紛争が絶えることなく多くの人々が犠牲となり、そして次々と武器が作られています。こうした状況のもと、「不戦の誓い」として誕生し、「武器によらない平和」をめざす憲法9条が世界の人々に注目を浴びています。

憲法9条は、侵略戦争の反省にたち戦争放棄・交戦権否認・軍隊不保持を謳い、同時に軍事費を減じ貧困をなくすことや武器や基地をなくし地球環境を守る(こと)など有効であり、世界中の人が平和的に生活できる(こと)として現実的な可能性をもっています。このことを世界共通のものにしようとする世界の代表者が集います。府職労では憲法を守る闘いをすすめる重要な集会和位置付け参加協力など集会成功にむけて取り組みを強化していきます。

「ピースチャレンジャー」登録を!!

大阪自治労連では、「憲法を守り生かす大運動」として、憲法署名運動をはじめ「職場・仕事と憲法」メッセージ運動などを提起しています。とくに憲法署名は30万筆の目標達成に向けて、職場での憲法署名を積極的にすすめる牽引的な役割を担っていただく『憲法署名推進1000人「ピースチャレンジャー」運動』の登録運動に取り組んでいます。

具体的な取り組みは、9月までに「ピースチャレンジャー」として、憲法署名を50筆または100筆集めることを目標設定し、日常的に署名行動を実践してもらおうものです。

府職労は平和憲法を守り生かすために、みなさんへ「ピースチャレンジャー」登録を呼びかけます。登録・問い合わせは本部共闘部までお願いいたします。